(単位:千円)

事業名	未来につな	ぐ人と森づくり事	業							事業コード	0201102	02301	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	竟や地域資源を そ	守り、	生かし、次世	せ代につないでいくまち	政策目標	3 自然と	:共生する	地域空間(り形成	
以来许尔	施策名	1 豊かな資源環	環境の保全と活用	1						施策コード	231		
事業担当	所属	02090000 地域技	振興部 夜久野豆	支所				所属長	中島 美	香			
会計情報	款)2 総務費	項 01 総	務管理費	目	10 :	地域交流推進費	会計	01 一般会言	決算	付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和7年度	関	連計画名	-			F	6現在の状	況 ;	継続中
根拠法令等	_												
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業 □ その)他 (•)
関連事業	移住·定住(足進事業、循環型	型森林整備モデル	レ事業、農匠の組	うなく	の施設管理	運営事業、やくの木と漆 <i>0</i>	の館事業					

|| 事業某礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野地域の豊かな地域資	源(森林・丹波漆・宝	山など)と歴史を活かし、	担い手の育成に	こより、持続可能な循環型	₹の地域づくりを行う。								
対象者	夜久野地域への移住希望者	での大野地域住民		対象者数	3,100	単位あたりコスト	4.4							
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	接実施 🗸 業務委託 🗆 指定管理 🗆 補助金交付 🗆 その他 ()												
委託先•実施主体等	特定非営利活動法人 芸術	と遊び創造協会												
事業概要 (箇条書き)	・夜久野の地域資源を再発見	ト育キャラバンの開催 友久野の地域資源を再発見するイベント(マルシェを含む)の実施 地域づくりワークショップの開催 など Eな利用特財】												
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容									
	報償費	149	出演者謝礼、ボランティ	アスタッフ謝礼										
主な支出に係る	需用費	326	チラシ印刷、イベント参加	口記念品、消耗品	7									
業務内容と経費	役務費	179	チラシ新聞折込手数料、	イベント保険料										
	委託料	2,778	イベント警備委託、イベン	ント運営委託、P	R動画作成委託									
		委託料 2,778 イベント警備委託、イベント運営委託、PR動画作成委託 旅費、使用料及び賃借料 41 職員旅費												

|| 予算執行状況

	区				变)		R5(評価年	度)		R6(本年原	E)		R7(要求	(作度)																		
	① ≝	á初予算			0			9,131			3,698				0																	
予	② 補	正予算			0			0			0				0																	
算情	③ 稍	越予算			0			0			0				0																	
報		前年度繰越			0			0			0																					
		次年度繰越			0			0																								
	小計((1)~(3)			0			9,131			3,698				0																	
予	① -	-般財源			0			2,605			0				0																	
算財源		支出金			0			2,605			1,841				0																	
源		f支出金 			0			2,871			0				0																	
内訳	_	也方債			0			0			0				0																	
		の他特財			0			1,050			1,857				0																	
決		充用額			0			△ 5,659																								
決算		己当予算			0			3,472																								
情報	③ 幇	竹額			0			3,472																								
	4 勢				0.0%			100.0%																								
人概工算	① 従 正職員/ ※R4は、 職員	事職員数 会計年度任用職員 正職員/非常勤嘱託	0.00	/	0.00	1.15	/	0.35		/			/	<i>,</i>																		
	② 根	既算人件費			0			10,180	80																							
		ルコスト 質+概算人件費)		0		0		0		0		0		0		0		0				13,652	2									
				未来につなぐ人と森づく	り事業(デジタル田園都市	(国家構想交付金)		総務費国庫補助	金	_	-	172		15																		
(N		间用特財 ■度実績値)	特財名称	未来につなぐ人と森づくり	事業(豊かな森を育てる府)	民税市町村交付金)	種類	総務費府補助金	ì	実績金額	1,7	771	決算附属資料	22	頁																	
·				未来につなぐ人と森づくり	リ事業(移住・定住・交流推	注·交流推進支援事業助成金) 維入							691 47																			

成里宝練	成 果実績 指標		単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
(アウトカム)	夜久野地域へσ	O移住者	人	/	/	13 / 15	/ 15	15
実績/目標	夜久野に住み続けた	といと思う人の割合	%	/	/	- / -	/ -	令和5年度比10%増
	指	標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
活動実績	ワークショップ参	加者数	人	/	/	24 / 60	/ 60	60
(アウトプット)		単位あたりコ	スト			144.7		
実績/計画				/	1 /	/	未来につなく	人と森づくり事業
		単位あたりコ	コスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項		I	・兼担当所属内による自己評価)	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・マルシェや木育イベント等を開催することで、夜久野の魅力を市内外に発信することができた。	
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・マルシェ出店者からの負担金の徴収や、イベントスタッフにボランティアスタッフを募集するなど事業実施における経費の削減に努めた。	☑ やや高い
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・一定数の移住者はあるが、本事業による効果かどうかを把握することが困難。	
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
含めた	:自	京面も 己評価 の課題	ている。 ・木育イベントを開催し、市内外から多くの来場が ・夜久野の地域資源を再発見し、発信するために	とで、一時的ではあるが夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており、一定の があり、夜久野地域の豊かな森林資源をPRすることができた。 関係団体との協議・調整が必要となる。 ことによる経費削減のため、執行率が低くなった。	成果を上げていると考え
改	善	策	係人口の増加、更に夜久野地域への移住者の増	ながら、夜久野の地域資源を守り、活かしていく人づくり・まちづくりに向け、地域資源の発信 創加に繋げる。 ・マルシェ、森フェスタの実行委員会等で協議を実施する。	等を実施することで、関

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
了开女小刀到	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹相木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位:千円)

事業名	環境保全一	般事業(生活環境	意課)							事業コー	・ド 04010552	0121	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	竟や地域資源を で	守り、	生かし、次世	せ代につないでいくまち	政策目標	票 3 自然と	共生する	る地域空間の	形成	
以來评求	施策名	1 豊かな自然環	境の保全と活用	1						施策コー	ド 231		
事業担当	所属	05050000 市民終	総務部 生活環境	竟課				所属長	四方 幸	生			
会計情報	款(04 衛生費	項 01 保	健衛生費	目	0	5 環境保全費	会計	01 一般会言	沖 決算	草附属資料	153	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和14年度	関	連計画名	エネルギー・環境基本計	画			R6現在の状況	継続中	1
根拠法令等	環境保全法	、公害紛争処理》	去、騒音規制法、	悪臭防止法、水	質汚	濁防止法、	福知山市附属機関設置第	€例					
事業区分	☑ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業 □ その)他	()
関連事業	_												

事業基礎情報	段							
	市民、事業者の環境意識を環境公害発生時には、その対				らとする 。			
対象者	全市民			対象者数	75,453	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	E管理 □ 補助金:	交付 口	その他 ()
委託先・実施主体等	有限会社京都事務機販売、	一般社団法人京都微	姓生物研究所、株式会社5	環境テクノス、ダイ	イワエンジニアリング株式	大会社播磨分析センタ	_	
事業概要	・環境パーク施設見学、その 業所の公害発生施設設置届 測定を行い、状況を監視する に対して道路に面する地域の	出を受理するととも 。 騒音規制法第18	こ、必要に応じて法令に基 条に基づき、市内幹線道	基づく指導を行う 。	・市内で大気汚染、水質	質汚濁、悪臭公害が懸	念される地域において環	環境
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容			
	旅費	9	市町村公害苦情処理担	当者会議				
エルスロールの	委託料	2,786	中小河川水質調査業務、自	動車騒音常時監視	見面的評価業務、大気環境記	調査業務、特定施設設置	事業所管理システム構築業	務
業務内容と経費								
יי און יייב אוב יייב אווי	-							

_____ 予算執行状況

	区分		ı	R4(評価前年原	変)		R5(評価年	度)		R6(本年	E)	R7(要求年度)				
	1)	当初予算			2,080			2,720			1,487			0		
予	2 1	補正予算			0			0			0			0		
算情	3 1	繰越予算			0			0			0			0		
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0								
	小計	·(①~③)			2,080			2,720			1,487			0		
予	① -	一般財源			2,080			2,720			821			0		
算		国支出金			0			0			0			0		
源	_	府支出金			0			0				0				
対源内訳		地方債			0			0			0			0		
	_	その他特財			0			0			0			0		
決算		流充用額			0			75								
算権		配当予算			2,080			2,795								
情報		執行額			1,338			2,795								
		執行率			64.3%			100.0%								
人概工算	正職員 ※R4は 職員	走事職員数 1/会計年度任用職員 は、正職員/非常勤嘱託	0.94	/	0.00	0.66	/	0.00		/			/			
		概算人件費			7,520			5,280								
		アルコスト ・額+概算人件費)			8,858			8,075								
(1)	主な N-14	利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		 決算附属資料		頁		

── 業績指標

成里宝練	指	標	単位		R3			R4			R5			R6		最終目標
	環境調査の基準	基値以内割合	%	100	/	100	100	/	100	100	/	100		/	100	100
実績/目標					/			/			/			/		
	指	標	単位		R3			R4			R5			R6		最終目標
活動宣籍	環境調査	_	件	4	/	4	4	/	4	4	/	4		/	4	4
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	コスト		270.5			334.5			698.8					
実績/計画					/		3	/			/		環均	竟保全	一般事	業 (生活環境課)
		単位あたりコ	コスト													

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
此	要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	・公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求 に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。・環境測定は、環境公 害については以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズ に応えるものである。騒音については、国の法廷受託事務である。・公害苦情処理・環境 測定業務を実施	- ±
勃	率性	優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限い必要な経費のみである。・啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。・環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効果がよい。・委託価格も市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。・環境測定業務を業者に発注	☑ 高い □ やや高い □ やや低い
有3	効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	環境測定成果目標は、過去の実績から設定した目標である。・市が実施する環境調査にて、全て測定項目が基準値以内となることで、環境公害の発生を未然に防ぐ。・環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。	
含めた	りな面も 自己評価 状の課題	人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境	- 情務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識 保全への取り組みを強めていく必要がある。 出来ない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的	
改善	善策	課題事例に対して、原因者、市民双方の理解を行	导られるよう、関係機関と連携し、環境問題の苦情の解決に努める。	
VI = 2	次評価(事業所属外による他部署評価)		
事後評値	価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

- VII 計画をいまた/	5人十尺甲末7月	
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
42 W	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
1 3120111112	□ 事業の見直しなし	

_	**** * // * = / *//*	* •						
	予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
	了异及吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位:千円)

•													
事業名	森林経営管	理事業								事業コード	0602022	10101	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	覚や地域資源を で	守り、	生かし、次世	世代につないでいくまち	政策目	票 3 自然と	上共生する:	地域空間0	D形成	
以來评求	施策名	1 豊かな自然環	境の保全と活用	1						施策コード	231		
事業担当	所属	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 中田 浩二											
会計情報	款 06	3 農林業費	項 02	林業費	目	O	2 林業振興費	会計	01 一般会記	計 決算	付属資料	170	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名	福知山市森林経営管理	意向調査	実施計画	R	6現在の状況	兄 継続中	-
根拠法令等	森林経営管	理法											
事業区分	□ 法定受] 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ())		
関連事業	_												

争果基礎情報	収											
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	森林の適正な経営や管理が 営や管理を行わなければない このため、森林の経営管理(らないこととなってい	3 .				すされ、森林の適正 な	よ経				
対象者	市内森林所有者(森林簿情報	内森林所有者(森林簿情報、共有者数含まない) 対象者数 14,502 単位あたりコスト 4.9										
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指足	E管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()				
委託先•実施主体等	アジア航測株式会社											
事業概要 (箇条書き)		で向調査実施地区における集積計画策定に向けた事務(室・市寺地区及び河守・河西地区) 林航空レーザ測量データ及び公図等を活用した森林境界明確化の実施(平野・板生地区及び有仁地区の一部)										
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容	!						
	役務費	262	郵送料									
主な支出に係る	委託料	66,831	森林境界明確化業務、森	な林情報活用シ	ステム保守管理業務							
業務内容と経費	使用料及び賃借料	172	複写機使用料									

||| 予算執行状況

	区分		ı	R4(評価前年度	E)		R5(評価年	度)		R6(本年月	E)	R7(要	求年度)	
	1 4	当初予算			113,322			68,229			95,090			0
予	② 補	甫正予算			Δ 10,000			0			0			0
算情	③ 絲	操越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0	0								
	小計(①~③)			103,322			68,229				95,090			0
予	① -	-般財源			59,509			33,830			95,090			0
		国支出金			0			0			0			0
算財源内訳		守支出金			0			0						0
内訳	④ 地方債			0	0			0					0	
B*\		その他特財	43,813			34,399					0			0
決		允 充用額			△ 63			0						
算		己当予算			103,259			68,229						
決算情報	3 \$	执行額			101,701			67,265						
		执行率			98.5%			98.6%						
人概工算	① 従 正職員/ ※R4は、 職員	生事職員数 /会計年度任用職員 、正職員/非常勤嘱託	0.45	/	0.00	0.29	/	0.55		/			/	
		既算人件費			3,600			3,860						
卜 ·	一夕 ^{算執行額}	ルコスト 額+概算人件費)			105,301			71,125						
				森林経営管理事業	基金繰入(森林環境	譲与税基金)		基金繰入金			37,1	92	41	
(N		利用特財 F度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算附属資料		頁
	(N-14及天積恒)													

成果実績	指標		単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
(アウトカム)	森林経営計画認	定面積(市内)	ha	2966	/	4150	2880	/	4150	集計中	/	4150	/	4150	4150
実績/目標	森林整備面積(市全体)	ha	258	/	587	141	/	587	_	/	-	/	_	-
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動実績	森林経営管理権集積計画設定地区		地区	1	/	2	1	/	2	1	/	3	/	4	31
(アウトプット)		単位あたり〓	スト		0.0					6	37265.0)			
実績/計画	森林経営管理実施権	配分計画設定地区	地区	0	/	2	5 ¹	/	2	1	/	3	/	4	森林経營管理事業
		単位あたり〓	スト							6	37265.0)			

項	E	1	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業	温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、 森林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。 森林整備を推進するものであり、森林経営管理法に基づき市町村が担うべきものである。	
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	財源として、国から譲与される森林環境譲与税を充当し事業を実施している。 事業内容においては、競争入札によりコスト削減を実施している。	□ やや高い
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業体が管理することになるため、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。	
有:	効・	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			また、昨年度に引き続き、平野・板生地区及	分計画」(観音寺地区)に基づき、国府補助事業を活用し、令和5年度に森林整備が実施された。 び有仁地区の一部(二箇地区)において、森林境界明確化を実施できた。	
			ただし、息円調査固所が膨大であり、喫繁の	D課題である森林整備を実施するまでに多大な労力、時間ともに要している。	
定性的 含めた 及び現	自己	評価			
及ひ現	状の	味理			
			これまでの森林境界明確化の取組により、	森林所有者への効率的な説明方法や同意の取り付けについてはブラッシュアップしている。	
-L	<u>.</u>				
改	書 :	萊			
/ =:	次部	平価(事	業所属外による他部署評価)		
事後評	価コン	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
- م سك) J-	. جسلم د	た次年度事業方針		

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
了开女小刀到	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位:千円)

事業名	福知山千年	の森づくり事業								事業コード	06020222	0401	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	ộや地域資源を で	守り、	生かし、次世	せ代につないでいくまち	政策目標	票 3 自然と	:共生する	地域空間の	形成	
以来评示	施策名	施 策 名 1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231		
事業担当	所属	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 中田 浩二											
会計情報	款 06	農林業費	項 02	林業費	目	0	2 林業振興費	会計	01 一般会計	決算	附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名	福知山千年の森づくり基	本計画		F	86現在の状況	継続中	_
根拠法令等	_												
事業区分	□ 法定受	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ())	
関連事業	_												

|| 事業基礎情報

, /												
対象者	国定公園来訪者数	定公園来訪者数 対象者数 79,000 単位あたりコスト 0.1										
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先・実施主体等	一般社団法人日本ランニング	g社団法人日本ランニングファシリテーター協会、レントオール										
事業概要 (箇条書き)		「大江山トレイル教室#千年の森」と題し、環境教育と一体となったトレイルラン教室を実施した。 連携を結んだ企業とともにSNSを使った国定公園内の魅力発信や、地元住民とともに清掃活動を行った。										
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容							
	報償費	62	自然環境授業の講師	料及び官民連携の	推進体制発足の協議に	係る会議						
主な支出に係る	旅費	4	トレイルラン実施に係	るコーチとの打合も	せに係った旅費							
業務内容と経費	需用費	364	トレイルラン教室実施	に係る消耗品購入								
	委託料	2,135	トレイルラン教室実施	に係るコーチ委託	料及び会場設置委託料							
	使用料及び賃借料	11	トレイルラン教室実施	に係る会場使用料	,							

|| 予算執行状況

	区	分	I	R4(評価前年度	隻)		R5(評価年	度)		R6(本年月	度)	R7(要	求年度)									
	1 #	á初予算			7,260			5,222			4,589			0								
予	② 補	正予算			0			0			0			0								
算情	③ 稱	建越予算		0				0			0	0.										
報		前年度繰越		0		0		0		0		0				0			0			
		次年度繰越			0			0														
	小計((1)~(3)			7,260		5,222 4,58							0								
予	1 -	-般財源			0			0			0			0								
算		支出金			0			0			0)										
算財源内訳		于支出金 	7,260					5,222			4,589											
内訳				0			0			0			0									
		の他特財	0					0			0			0								
決		充用額	△ 2,915					△ 833														
算		己当予算			4,345			4,389														
決算情報	③ 幇	执 行額			4,053			2,574														
	④ 幇				93.3%			58.6%														
人概工算	① 従 正職員/ ※R4は、 職員	事職員数 会計年度任用職員 正職員/非常勤嘱託	0.49 / 0.00			0.32 / 0.00			/			/										
		既算人件費			3,920			2,560	60													
卜 ·	一夕 算執行額	ルコスト 領+概算人件費)			7,973			5,134														
			_	福知山千年の森づくり事	葉(豊かな森を育てる府民	税市町村交付金)	_	農林業費府補助	金		2,5	574	26									
(N		河用特財 ■度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算附属資料		頁								

成果実績	指標		単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
(アウトカム)	国定公園への来	₹訪者数	人	73000	/	257000	79000	/	257000	89000	/	257000	/	257000	257000
実績/目標	自然環境の保全・活	用事業の参加者数	人	803	/	-	1300	/	-	1141	/	-	/	1	1240
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動実績	千年の森づくり	舌動参加者数	人	52	/	146	89	/	146	209	/	146	/	146	146
(アウトプット)		単位あたり二	スト		156.7			45.5			12.3				
実績/計画	イベント(#千年の	(森)の参加者数	人	-	/	0	7 ⁸⁹	/	50	209	/	100	/ 宿	新 20 9千	年の森 299 くり事業
		単位あたり二	コスト		0.0			45.5			12.3				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与する必要性は高い。 令和5年度においては、全国の未就学児・小学生を対象としたイベントを開催し、国定公園内の自然の魅力を学び、自然を体感してもらった。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	トレイルラン教室においては、コース整備や実施することにより経費を最小限に抑えた上で実施した。 企業とパートナーシップ協定を結び、協力企業が独自に作成する特集ページやSNS発信	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	を行った。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることと、未就学児・小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	アウトドアグッスなどのセレクトショップを経営する 本計画」を知っていただく機会を得た。 福知山公立大学の学生を「福知山千年の森 若 た。	ことにより、より広範囲に国定公園のファンとなっていただくきっかけづくりを行った。 企業と協定を結び、SNS等を活用した情報発信をしていただいたことにより、幅広い層に「福芽サポーター」に任命し、トレイルラン教室にボランティアとして参加していただき若い世代の は林に興味を持ち、持続的に森づくりに関わって下さる仕掛け作りが重要になってくる。	
改善策	令和6年5月に「福知山千年の森づくり基本計画	」を推進する官民連携の会議体を作り、事業展開を図っていく。	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
了开女小刀到	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位:千円)

事業名	都市計画費	一般管理事業							:	事業コード	080401510	0203	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	覚や地域資源を で	守り、生かし、次世代につないでいくまち 政策目標 3 自然と共生する地域空間の形成								
以来许尔	施策名	1 豊かな自然環	環境の保全と活用	1					:	施策コード 231			
事業担当	所属	35050000 建設3	· 译幸										
会計情報	款	08 土木費	項 04 都	市計画費	目	01 1	都市計画総務費	会計 0	1 一般会計	決算隊	付属資料	190-191	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名			R	6現在の状況	継続中	1	
根拠法令等							_						
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 □ その他 ()
関連事業		_											

|| 事業基礎情報

11 事术坐视用书	K.													
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の地域特性を活かし、 活動を支える都市施設の整体													
対象者	市民			対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.7							
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	直接実施 🗸 業務委託 🗆 指定管理 🗆 補助金交付 🗆 その他 (
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支	航測株式会社京都支店、石原自治会												
事業概要 (箇条書き)	・都市計画審議会及び景観審議会 〇主な利用特財(下記以外) 土地利用規制対策費交付金/土	予算や決算及び議会関連に関する人件費 ・屋外広告物の許可、各種届出等に係る費用・区画整理に係る証明等の費用 ・委任工事設計、監督に係る人件費 都市計画審議会及び景観審議会開催に係る人件費 ・都市計画図の修正、印刷に係る費用 ・職員の事務作業及び能力向上に係る費用 など 注な利用特財(下記以外) 土地利用規制対策費交付金/土木費府補助金/79千円/27頁 、都市計画図書/物品売払収入/28千円/33頁 、公用車(都市・交通課)/物品売払収入/99千円/33頁 自賠責保険料返還金/雑入/1千円/46頁 、自動車損害共済返戻金/雑入/3千円/49頁												
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容									
	報酬	112	都市計画審議会委員報	5 H										
T-0~HI-M-0	報償費	10	都市計画審議会公募委	員の選考会に係	る謝礼									
業務内容と経費	旅費	329	事務打ち合わせ、研修等	除旅費										
	需用費	1,239	事務用品、書籍等購入、	燃料費等										
	役務費ほか	4,160	郵送料、手数料、都市計	·画図修正業務、	JR石原駅自転車等駐輪	場の清掃管理業務に	Eか							

|| 予算執行状況

	区	分		R4(評価前年度))		R5(評価年	度)		R6(本年月	度)		R7(要求	(年度)															
	1 1	当初予算			7,382			7,706			3,442				0														
予	2 *	補正予算			0			0			0				0														
算情	③ 約	操越予算			0			0			0				0														
報		前年度繰越		0		0		0		0		0		0		0		0				0			0				
		次年度繰越			0			0																					
	小計	(1)~3)			7,382		7,706 3,442								0														
予		一般財源			6,492			6,750			2,303				0														
算		国支出金			0			0			0	0			0														
算財源内		莳支出金	62									73																	
内訳		地方債	(0			0				0														
D/\		その他特財	828					817			1,066				0														
*		充充用額	1,784					△ 808																					
決算	② 酉	記当予算			9,166	6,898																							
情報	3 ‡	执行額			7,127			5,850																					
110		执行率			77.8%	84.8%																							
人概工算	① 従 正職員/ ※R4は 職員	性事職員数 /会計年度任用職員 、正職員/非常勤嘱託	8.24 / 1.15			5.07	/	2.00		/			/	/															
	② 相	既算人件費			69,140			46,160																					
		ルコスト 額+概算人件費)			76,267			52,010																					
				区画整理成果証	明手数料			土木手数料				73		13															
(1)		利用特財 年度実績値)	特財名称	都市計画関係証	明手数料		種類	土木手数料		実績金額		6	決算附属資料	13	頁														
			度美稹但 <i>)</i>		申請手数料			土木手数料				541		13															

成果実績	指	標	単位		R3			R4		R5			R6			最終	目標
(アウトカム)	定性的評価			/		/		/		/							
実績/目標					/			/			/			/			
	指	標	単位		R3			R4			R5			R6		最終	目標
活動実績	研修参加回数		口	6	/	12	16	/	13	8	/	11		/	8	(0
(アウトプット)		単位あたり	コスト		1192.7			445.4			731.3						
実績/計画	都市計画審議会	·開催回数	口	2	/	2	g 1	/	2	1	/	3		/	都有計	画費一角	设管理事業
		単位あたり	コスト		3578.0			7127.0			5850.0						

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。 ・都市計画審議会の開催や関係法令の規定に基づく手続き等の適正な運用を図ることで、環境や地域資源を生かした魅力ある都市空間の形成を推進する。	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・関係機関等との会議は、ウェブ会議を積極的に活用し事務の効率化に努めた。 	☑ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・事業の目的・目標を達成するため、職員の積極的な研修参加を推進し、専門性や能力の向上を図る。 ・関係法令の規定に基づく届出や許可等の手続き事務が適切な運用のもと着実に実施さ	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	れることで計画的な土地利用が推進される。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			:半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運 モートによる会議や研修を積極的に活用した。今後は、市民サービスの向上をめざし、各種	
定性的な 含めた自				
及び現状				
		を進める。	のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、販売や在庫の確保・管理方法	もの見直しを含めた検討
		・関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の	手続きのオンライン化に積極的に対応する。	
改善	策			
VI 二次	評価(事	業所属外による他部署評価)		
事後評価	コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
	□ 統合/組換	
	□ 廃止/休止	
	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)